事　業　計　画

令和６年度（2024年度）

【令和６年４月１日から令和７年３月31日まで】

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

法 人 概 要

【法人の沿革】

1977年 4月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設　理事長　安家茂美
	「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園（S52.3.31認可）園長　安家茂美
1987年 4月	「あけぼのベビーセンター」上野西に開園（S62.3.26認可）園長　安家周子
1988年12月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周子就任
2000年 6月	豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曽根東町に開園　園長　安家周子
2001年 4月	「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更（H13.3.30認可）
2002年 4月	「あけぼのドロップス」上新田に開園（H14.3.29認可）園長　安家尚子
2005年 3月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周一就任
2005年 4月	「あけぼのぽんぽこ保育園」西緑丘に開園（H17.3.31認可）園長　安家比呂志
2012年 3月	「豊中あけぼの保育園」城山町に移転
2015年 2月	「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転
2018年4月	「あけぼのベビーセンター」を「あけぼの風の森保育園」へ名称変更
2019年4月	「豊中あけぼの保育園」を幼保連携型認定こども園「豊中あけぼのこども園」へ認可変更
	「あけぼのドロップス」を幼保連携型認定こども園「認定こども園あけぼのドロップス」へ認可変更
	「あけぼのぽんぽこ保育園」を幼保連携型認定こども園「あけぼのぽんぽここども園」へ認可変更

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと　今だからできること
しっかり看つめること　ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと　思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること　大人も育つこと
私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる
すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿　　「よくみる　よくきく　よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

①こどもの安全が最優先されているか
②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
③保護者に対して共感的態度で接しているか
④自分が人間として自立しているか
⑤自分が保育者として向上心があるか
⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
⑦「もったいない」を大切にしよう
⑧自分を大切にし、周りの人を大切にする　（No２の役割とティームワーク）

【役員・評議員の状況】

理事６名・監事２名　任期：令和５年６月27日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	理事長	安家　周一	学校法人あけぼの学園　理事長
2	副理事長	安家　力	あけぼのほりえこども園　園長
3	理事	片山　雄基	社会福祉法人種の会　理事長
4	理事	中橋　美穂	大阪教育大学　教授
5	理事	三倉　敏浩	豊中あけぼのこども園　園長
6	理事	水谷　豊三	学校法人成城学園　理事長
1	監事	上保　小太郎	元法人事務長
2	監事	河端　秀雄	元豊中市職員

評議員７名　任期：令和３年６月29日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	評議員	安達　譲	学校法人ひじり学園　理事長
2	評議員	北島　孝通	庄内こどもの杜幼稚園　施設長
3	評議員	辰巳　正信	学校法人たつみ学園　理事長
4	評議員	得　喜成	社会福祉法人愛成会　理事長
5	評議員	秦　賢志	学校法人小寺学園　理事長
6	評議員	濱名　浩	学校法人あけぼの学院　理事長
7	評議員	村野　光子	アトリオみなみおかこども園　園長

【法人全体の計画】　　**理事長**：安家 周一

当法人は、今年度も子どもの健やかな成長と保護者の子育力向上に資するため、「子どもたちの命と育ちが護られ、保護者が子育ての喜びを感じ、教職員が仕事に誇りを持てること」を使命として 2024 年度事業に取り組む。特に、昨年来報道されている保育担当者における「不適切な保育」について学びを深め、子ども中心主義の保育を徹底し、同僚で内部けん制できるシステムを工夫する。昨年度は幸い不適切なかかわりを見かけた同僚からの報告もあって、すぐに対応できたケースが数件あったことを踏まえ、職員間で価値観を共有し、人権を大切にした保育展開を目指す。

また、保護者の長時間の労働によって園児の滞在時間が長時間化し、家庭で過ごすゆったりした時間が制限される傾向にあることから、幼少期の家庭でのだんらんが愛着の形成や語彙の獲得などに大きく影響することを伝えることを大切にする。家庭が子どもにとっての安全基地となるよう保護者を励まし、力づけたい。

傘下各園長の異動以降２年が経過したが、それぞれ環境のなかで丁寧な運営を心掛け、情報交換や職員との関係の構築に精力的に取り組んでいる。また、耐震工事や施設の改善も実施されている。計画的な取り組みを大切にしたい。

今後とも様々な研修によって学びを深め、職員の同僚性を大切に、それぞれのよさを生かした施設運営を模索し、職員は長期間勤務が継続されることを願って、働き方や労働条件も更なる改善を目指す。

持続可能な社会を目指す SDGs を大切にするためにも、光熱水などの節約に努力する。

○各施設共通の具体的な取り組み

Ⅰ］安全な食事の提供を行うための様々な工夫

ここ数年、安全な食材の仕入れや共通メニューによって、食の面が大きく前進した。主食費・副食費の金額も 7,500 円／月に設定し、野菜に加えて、調味料や乾物などにも配慮し始めることができている。引き続き乳幼児の食事について、研究工夫を重ねる。

Ⅱ］勤務に対する評価

評価については、従前より各園長・主任によって評価を行い、期末賞与に反映させるなどしている。その評価が、今後の向上心に結び付くよう今後も努力する。何よりも職員間のコミュニケーションが大切である。各施設ともしっかりとしたチームづくりに力を傾注する。

Ⅲ］内外の環境整備

昨年に引き続き今年度も室内環境、屋外環境を点検し、清潔さや充実に努める。また、保育室や園庭の玩具や、子どもが興味を注げるような物的環境を研究する。

Ⅳ］施設ごとの大規模修繕を実施するための積立金

今後訪れる老朽化に伴う各施設の大規模修繕を実施するための積立金を計画的に進める。

Ⅴ］職員の勤務時間の適切な管理

職員の労働環境をより良いものにするため、これまで以上に職員の勤務時間の管理に気を配り、効率的で質の高い仕事ができる体制を整えていく。

各 施 設 計 画

【豊中あけぼのこども園】　　園長：三倉　敏浩

所在地 ： 〒561-0803 豊中市城山町 1-2-25
連絡先 ： TEL/06-6863-7050　FAX/06-6863-1260　E-mail/toyonaka_akebono@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
	74	5	5	6	21	21	16
実員 (4/1 予定)	80	5	5	6	24	24	16

職員数：

職種	4/1			
	正職員	契約職員 (常勤換算)	派遣職員 (常勤換算)	合計 (常勤換算計)
園長	1			1
主幹保育教諭	1			1
保育教諭	12	5 (3.0)		17 (15.0)
保育補助		5 (1.2)		5 (1.2)
栄養士/調理員	1	3 (1.2)		4 (2.2)
看護師	1			1
事務員		1 (0.8)		1 (0.8)
その他		0		0
計	16	14 (6.2)		30 (22.2)

職員の勤続年数：

1 年未満		4 年以上 5 年未満	1	8 年以上 9 年未満	2	12 年以上 13 年未満	1	20 年以上	2
1 年以上 2 年未満		5 年以上 6 年未満	2	9 年以上 10 年未満	2	13 年以上 14 年未満		常勤職員の平均	
2 年以上 3 年未満	2	6 年以上 7 年未満	1	10 年以上 11 年未満	1	14 年以上 15 年未満			
3 年以上 4 年未満	3	7 年以上 8 年未満		11 年以上 12 年未満	1	15 年以上 20 年未満	2	9 年	

研修の受講予定：

○第 15 回幼児教育実践学会（4 名）　○キャリアアップ研修（13 名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
①「物的環境」の再編成と「人的環境」の明確化へ（全クラス対象）	・2023 年度よりクラス数が増え、物的環境が分散された事に伴い、全クラスの環境を再編成・ベースアップする事が求められている。「環境整備用の予算（各 10 万円）」を保育材料費に計上し、各担任が主体的にクラスの環境作りを進めていけるようにする。 ・幼児クラスの 2 人担任制の確立に続き、今年度より辞令でも明確にフリーを各乳児クラスの「副担任」として位置づけ、分厚い保育支援とノンコンタクトタイム確立を図る人的環境を充実させる。
②学びの発信による保育のアップデート（学会発表）	・2012 年より実施している幼児クラスの「縦割り保育」。2017 年に取り組みを学会で発表したが、それ以降も実践を重ね他園からの見学者や大学研究者からの聞き取りも増えている。この度、主幹と幼児クラス経験者を中心に 12 年間 4 サイクルに及ぶ縦割り保育を取り纏め「第 15 回幼児教育実践学会」にてポスター発表を行ない、自園の取り組みの振り返りや客観的評価をフィードバックして、更なる保育のアップデートへと繋げる。

地域貢献活動計画：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放『ひなたぼっこ園庭』	豊中あけぼのこども園園庭	毎週月曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供する。
子育て支援イベント『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん 3F ホール（豊島公園）	毎週火曜日にあけぼのぶんぶんと共催で、地域の子育て世帯に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等を行う。（第 2 週のみ木曜日に豊島公園にて「ひなたぼっこ広場」を実施）

中長期的な運営課題に対する計画

目標計画
・連携施設間の『2 歳児』カリキュラムの編成 ・公開保育の実施（こども財団 or ECEQ®）
設備計画
・外壁改修工事（園庭側全面） ・隣地の購入（土地代 3,000 万円の積立）⇒ミーティングルーム・5 歳児用フリー保育室の設置

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・厨房食洗器　※大阪府共同募金会助成申請済（891,000 円補助）	1,188,000 円
・空調機器パーツ交換（2 階設置全 4 台分）	1,837,000 円
・園庭ミニデッキ設置工事	※年度末予備費残額により検討

【あけぼの風の森保育園】　　園長：武田　愛子

所在地 ： 〒560-0011　豊中市上野西４丁目５番62号
連絡先 ： TEL/06-6857-2003　FAX/06-6857-2086　E-mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	０歳児	１歳児	２歳児
	６０	９	２５	２６
実員（4/1予定）	５５	４	２５	２６

職員数：

職種	4/1			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算）
園長	1			1
主任	1			1
保育士	14	5 (2.7)	2 (1.6)	21 (18.3)
保育補助		2 (0.9)		2 (0.9)
栄養士/調理士	2			2
看護師			1	1
事務員		1		1
その他				
計	18	8 (3.6)	3 (2.6)	29 (24.2)

職員の勤続年数：

1年未満	2	5年以上6年未満	1	10年以上11年未満	0	15年以上20年未満	2
1年以上2年未満	3	6年以上7年未満	1	11年以上12年未満	0	20年以上	1
2年以上3年未満	2	7年以上8年未満	1	12年以上13年未満	0	常勤職員の平均	
3年以上4年未満	3	8年以上9年未満	1	13年以上14年未満	0		
4年以上5年未満	0	9年以上10年未満	0	14年以上15年未満	2	８　年	

研修の受講予定：

○ちゃいるどネット研修（10名）　　○キャリアアップ研修（4名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
① 保育室・共有スペースの 充実と環境の見直し	・昨年度行った公開保育や法人アドバイザ―研修を経て、上がった課題を元に、乳児が主体的に遊べる環境と玩具の見直しを行う。 ・園庭改革を昨年度より始めており、今年度は園庭に木の家を作る計画を進める。（当初予算にて計上） ・絵本スペースを充実させ、子ども達や保護者の方にも利用して頂ける共有スペースを作る。
② 子育て支援・地域支援	・ここ数年、子育て支援に力を注いできたことから園庭開放の利用者数が増えている。今年度より、一時保育事業を再開させるにあたりに更に地域の方に必要とされる存在になっていけるように子育て支援を広げていく。 ・保護者の方がホッとできる居場所作りとして、土曜日にクラス毎のクラス開放 DAY を作り、行事以外でも繋がりが持てる場所作りを提供していく事を計画している。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼの風の森保育園　園庭	第１・３・４・５火曜日・第３土曜日　１０：００～１１：００ 園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供する。第４火曜日には、季節に合わせた製作やお祭りなどの特別なイベントを企画する。
公園保育	上野西４丁目第２公園	第２火曜日に近隣の公園にて、近隣に住む子どもと保護者に遊びの提供を行い、その中で育児相談等を行う。
ﾏﾙｼｪ@KAZE	あけぼの風の森保育園　駐輪場（ホール）	第３土曜日９：３０～１１：００ あけぼのが契約している山里農園の野菜や納豆などの販売を行う。
BP１ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	曽根東センター	第１子の赤ちゃんとお母さんが週４回連続で参加するプログラムとなっており、初めての子育ての大変さを共感したり情報交換したりする中で子育ての楽しさを共有しママ友としての繋がりの場所提供を行う。
一時保育事業	あけぼの風の森保育園	地域の子どもの一時保育として、基本９：００～１６：００の保育を行う。

中長期的な運営課題に対する計画：

目標・課題	具体的な取り組み計画
① 就学前施設に向けて	・年に２回の近隣協議会資料作成（園内に３か所ある測音機のデータを元に分析や今後の課題等を近隣の方に提出し、園での取り組み等を知って頂く。）今までにあけぼのぽんぽここども園幼児クラスに来園して頂き、幼児の在中時間のデータを提出し、幼児と乳児にそこまでの差がないことをお伝えしてきた。引き続き数回幼児在中時データを取り分析を行いデータとしてまとめていく。 ・近隣の方といい関係性を築いていく。昨年度も、挨拶はもちろん園内で収穫した果物等を子ども達とお届けに行ったり、公園掃除等を行ったりする中で少しずつ良い関係性が作られてきている。今後も近隣付き合いを上手に調和しながら保育運営を行っていく。

設備	具体的な取り組み計画
② 続・園庭改革	・毎年職員全員でどんな園庭にしたいかの計画を立て、子ども達がより主体的に遊べる環境作りを考えている。引き続き、園内研修等で取り上げ話し合っていきたい。 桜の木にウッドデッキを作る・上り棒やはしご設置・ボルダリング設置等が案に上がっているので要検討。

本年度に取り組む施設・施設設備、大きな支出項目：

項目	予算
・園庭改革、工事費用（木の家含む）	1,000,000 円
・ホール窓遮光シート工事	240,000 円
・園長室会議机	100,000 円
・絵本コーナー（棚・絵本・マット等）	300,000 円

【あけぼのぶんぶん】　園長：山中　由貴子

所在地 ： 〒561-0803 豊中市長興寺南 2 丁目 8 番 16 号
連絡先 ： TEL/06-6867-0711　FAX/06-6867-0712　E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
	45	12	15	18	-	-	-
実員 (4/1 予定)	45	12	15	18	-	-	-

職員数：

職種	4/1			
	正職員	契約職員 (常勤換算)	派遣職員 (常勤換算)	合計 (常勤換算計)
園長	1			1
保育主任	1			1
保育士	12	7 (4.7)		19 (16.7)
保育補助		1 (0.4)		1 (0.4)
栄養士/調理員	2	1 (0.2)		3 (2.2)
看護師	1			1
事務員	1			1
その他		2 (0.1)		2 (0.1)
計	18	11 (5.4)		29 (23.4)

職員の勤続年数：

1年未満	4	4年以上5年未満	2	8年以上9年未満	0	12年以上13年未満	1	20年以上	3
1年以上2年未満	2	5年以上6年未満	12	9年以上10年未満	5	13年以上14年未満	1	常勤職員の平均	
2年以上3年未満	1	6年以上7年未満	1	10年以上11年未満	0	14年以上15年未満	0		
3年以上4年未満	1	7年以上8年未満	1	11年以上12年未満	0	15年以上20年未満	0	8年	

研修の受講予定：

○ちゃいるどネット研修（3名） ○キャリアアップ研修（10名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
①乳児保育の質の向上と学び合う環境作り	・職員の入れ替わりがある為、乳児保育について話し合う時間を多く持ち、関わり方や環境、保育の考え方や意図等を共有していく。 又、学びを増やしていく為に他園の公開保育に参加したり、系列園の見学に行ったりできるように体制を整えていく。 ・保育環境評価スケールに基づいた研修の発表に向けて、保育の観察、考察を行っていき、学びを深めて保育の質を向上していく。
②時間内勤務の定着とリーダー育成	・2023年度、残業・持ち帰りをしない取り組みを本格的に行ったことで、職員の仕事の効率化への意識が高まった。又、法人で書類の見直しも行った為、そこから生み出せる時間を保育室や園内の環境作りも含めた保育の質の向上へ繋げていけるようにしていく。 ・時間内勤務を定着させていく為に、リーダーの役割として自分のことだけでなく、チームのマネジメントが出来るように振り返りを行ったり、リーダーで話し合いを行ってお互いに意識を高めていったりできるようにしていく。

地域貢献活動計画：

活動名	活動場所	活動内容
子育て支援イベント『ぶんぶんルーム』	あけぼのぶんぶん3Fホール	地域の第1子の0歳の母親に向けた3回コースの子育て支援。子育ての基礎知識の学び合い、遊びの紹介、離乳食の紹介、情報交換、育児相談等をおこなう。
子育て支援イベント『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん3Fホール（豊島公園）	毎週火曜日に豊中あけぼのこども園と共催で、地域の0・1歳児に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等をおこなう。（第2週のみ木曜日に豊島公園にて実施）
子育てイベント『ぶんぶんもぐもぐ』	あけぼのぶんぶん1F保育室	地域の0歳を子育て中の保護者を対象に離乳食の紹介や試食をおこなう。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
①連携施設間の『2 歳児』カリキュラムの編成	・2023 年度に豊中あけぼのこども園と連携となり、２歳児の交流を増やしたり、行事を共に行ったり、園内研を合同で行った。振り返りや保育内容や育ちについての擦り合わせは行っているが、2 歳児の打ち合わせを合同で実施したりして、2 園合同の 2 歳児カリキュラムの編成を進めていく。
②子育て支援の充実	・０歳児の入園希望者が少なくなってきている為、入園確保へ繋げていけるように０歳児向けの子育て支援を充実させたり、園に来てもらう機会を設けられるように計画していく。又、１歳児は一時保育事業の利用へも繋げていけるような取り組みを考えていく。
設備	具体的な取り組み計画
①園内外修繕、改修計画	・2024 年度、移転して１０年目を迎えることとなる。西・東側の外壁の改修工事を始め、経年劣化箇所の修繕、厨房機器のメンテナンスや入れ替えなどが入ってくることが予想される。それに伴う支出の予算計画を想定していく。
②園庭環境整備	・駐車場のスペースをあそび場として更に有効活用出来るように安全整備や環境整備を行っていく。園庭の空間を有効に使用出来ないか検討していく。

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・西側フェンス補強工事	300,000 円
・PC２台	300,000 円
・空調洗浄	200,000 円
・トランシーバー１０台	200,000 円

【認定こども園 あけぼのドロップス】　　**園長：**多田　悦子

所在地 ： 〒560-0085　豊中市上新田４丁 18 目番３号
連絡先 ： TEL/06-6155-1101　FAX/06-6155-1102　E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
	60	6	10	11	11	11	11
実員 (4/1 予定)	64	3	10	12	13	13	13

職員数：

職種	4/1			
	正職員	契約職員 (常勤換算)	派遣職員 (常勤換算)	合計 (常勤換算計)
園長	1			1
主幹保育教諭	1			1
保育教諭	12	7 (4.9)		19 (16.9)
保育補助		3 (0.9)		3 (0.9)
栄養士/調理員	2	1 (0.3)		3 (2.3)
看護師			1 (0.8)	1 (0.8)
事務員	1			1
その他		2 (0.2)		2 (0.2)
計	17	13 (6.3)	1 (0.8)	31 (24.1)

職員の勤続年数：

1 年未満	2	4 年以上 5 年未満	3	8 年以上 9 年未満		12 年以上 13 年未満		20 年以上	1
1 年以上 2 年未満	2	5 年以上 6 年未満	1	9 年以上 10 年未満	2	13 年以上 14 年未満		常勤職員の平均	
2 年以上 3 年未満		6 年以上 7 年未満	3	10 年以上 11 年未満	1	14 年以上 15 年未満			
3 年以上 4 年未満		7 年以上 8 年未満	1	11 年以上 12 年未満		15 年以上 20 年未満	3	10 年	

研修の受講予定：

○ちゃいるどネット研修（4 名）　　○キャリアアップ研修（10 名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
保育観の基盤作り	・幼児クラスでは、２人担任制やアクティブラーニング導入 2 年目となるので、法人内の他の幼児施設や外部研修からの学びも取り入れながら、前年度の振り返りを基にドロップスにおける幼児教育の基盤作りを行う。 ・乳児クラスでは、育児担当制での丁寧な保育から幼児期への連続性を持った育ちについての学びを深め、育ちの見通しを持って保育を行う事を目指す。 ・どの職員がどのクラス担任を担う事になっても、法人の理念を基にドロップスにおける保育のねらいを明確に理解し、戸惑いなく保育に入れるように保育観の基盤づくりを行う。
勤務時間の適切な管理	・数年来取り組んできた働き方改革をベースにいよいよ勤務時間の管理に徹底的に取り組む年度になる。その為、職員全体で仕事の効率化や業務のマネジメントに取り組む。 ・保育観の基盤づくりと勤務時間の適切な管理のバランスを心掛け、持続可能な保育体制や業務分担を整備していく。 ・勤務時間内で業務を終える事を前提とし、職員が自分の時間の充実を図り豊かな人間性を持った保育教諭が増えるようにする。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	認定こども園 あけぼのドロップス	毎週火曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供する。
子育て支援イベント 『ドロップスデー』	上新田府営住宅内 集会所	毎月第３火曜日に親子で制作や関わりなどを楽しむ場を提供する。また、保護者同士の交流の促進を図り育児相談なども行う。
親子交流イベント 『ドロップスカフェ』	上新田府営住宅内 一時保育室	毎月第１火曜日に保護者の方同士で交流を持ち、相談し合えるコミュニティを築く場を提供する。

中長期的な運営課題に対する計画

目標計画
・地域の親子の方や近隣の方と園が繋がる場を増やす。 ・保育の質や職員の資質を深めるための園内公開保育の実施
設備計画
・幼児クラス保育室の床の修繕 ・乳児トイレ温便座設置 ・隣地の借用を行い、園庭を広く充実した環境にする園庭改革

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
ガス給湯器　２台　入れ替え	473,000 円
ガス給湯器　１台　追加	見積中
園庭スピーカー	165,000 円
パソコン	100,000 円

【あけぼのぽんぽここども園】　　園長：藤田　勲

所在地　：　〒560-0005 豊中市西緑丘 2-4-1
連絡先　：　TEL/06-6857-0003　FAX/06-6857-0066　E-mail/ponpoko_akebono@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
	150	18	20	24	29	29	30
実員 (4/1 予定)	153	14	20	24	32	32	31

職員数：

職種	4/1			
	正職員	契約職員 (常勤換算)	派遣職員 (常勤換算)	合計 (常勤換算計)
園長	1			1
主幹保育教諭	1			1
保育教諭	27	6 (5.4)	1	34 (33.4)
保育補助		5 (2.7)	1 (0.6)	6 (3.3)
子育て支援員		2 (0.5)		2 (0.5)
栄養士/調理員	2	4 (1.9)		6 (3.9)
看護師	1			1
事務員		1		1
その他		2 (0.5)		2 (0.5)
計	32	20 (12)	2 (1.6)	54 (45.6)

職員の勤続年数：

1 年未満	4	4 年以上 5 年未満	3	8 年以上 9 年未満	5	12 年以上 13 年未満	2	20 年以上	1
1 年以上 2 年未満	3	5 年以上 6 年未満	2	9 年以上 10 年未満	4	13 年以上 14 年未満	2	常勤職員の平均	
2 年以上 3 年未満	2	6 年以上 7 年未満	1	10 年以上 11 年未満	2	14 年以上 15 年未満	0		
3 年以上 4 年未満	3	7 年以上 8 年未満	4	11 年以上 12 年未満	0	15 年以上 20 年未満	0	7 年	

研修の受講予定：

○ちゃいるどネット研修（6 名）
○キャリアアップ研修（10 名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
① 保育観の共有、学び合い高め合う環境へ	・昨年度から行っている連携施設あけぼの風の森との人材交流や研修を継続していく。また、打ち合わせの在り方を見直し、保育を語る中で子どもの育ちや丁寧な関り、保育の考え方を共有できるようにしていく。また姉妹園への見学や他園の公開保育に職員が参加できるように体制を整える。 ・アドバイザーや講師を招いた保育観察会を企画し園の課題や強みを再確認する機会を設けていく。
② 働き方の定着と仕事の効率性と質の向上	・働き方をここ数年法人で見直し、現場の職員の意識も変化しつつある。“残業しない”“持ち帰りをしない”という事だけが先行するのではなく、自分自身の仕事のマネジメント、チーフ・主任はチームの仕事のマネジメントを行い仕事効率が良くなる事で“生み出せるものはないか”、“より質を高める事はできないのか”という視点で定期的な振り返りを行っていく。また便利なツール（情報共有や情報整理等）を模索しシステム面でも効率化を目指していく。

地域貢献活動計画：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼのぽんぽこども園園庭	毎日園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供する
子育てサロン『ひよこちゃん少路』	あけぼのぽんぽここども園ホール	少路校区福祉委員会が運営する子育てサロンの場所提供を行い、地域の０～１歳児親子に向けた遊び場の提供、交流の促進、育児相談、栄養指導等を行う
子育て支援『ぽんぽこ広場』	あけぼのぽんぽここども園ホール	今年度より１～３歳児と受け入れを拡大し、地域の親子に向けたあそび場の提供、育児相談、保険指導等を行う

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
① 空保育室の有効活用	・ここ数年０歳児の欠員が出た状態で新年度を迎える事が増えている。当園では 18 名と受け入れ人数が多くこのままの定員運営は将来的に安定した運営ができない事が予想される。中期では１歳児の受け入れを増やし、歳児で括らない月例分けの 0.1 歳児保育の検討。長期的には０歳児入園という概念がなくなる事を予測し、空き部屋を使用した地域支援や学童児の受け入れ等を検討していく。
② 子育て支援の拡大と内容の充実	・コロナ禍において自園独自の子育て支援を長期間中止していた事でここ数年の参加家庭が激減している。“地域で孤独な子育てとならない為の受け皿になっていきたい”“気軽に園に立ち寄れて園の保育や雰

	囲気に触れられる機会を設ける”事で入園数の確保繋げていきたい”という2点の理由から事業の拡大と充実を計画していきたい。
設備	具体的な取り組み計画
① 園庭改修計画	・2023年度より運動会を園庭ではなく、少路小学校校庭での実施に切り替えた事で本格的に園庭の改修計画をしていく事となる。中長期のプロジェクトとして今年度より始動していく。優先度と重要度を鑑みて方向性とコンセプトを検討していく中で、実施できる項目があれば計画的に進めていく。その為扱う事ができる予算を毎年想定し備えておくと共に、大規模改修に備えて予算の計画を検討していく。
② 園内リニューアル改修計画	・本館園舎が改修後20年目、乳児棟が10年目を迎える事となる。外壁や屋根の修繕、経年劣化箇所の修繕、厨房機器の入れ替え等纏まった支出が想定される。中長期の修繕計画、それに伴う予算計画を想定しておく。

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・ＩＦデッキ廊下新設工事	4,081,440円
・足洗い場新設工事	1,000,000円
・PC　5台	750,000円